

新学習指導要領実施に伴う 学校教育の現状



▶ 問い合わせ先＝教育研究所 ☎内線263

外国語教育について

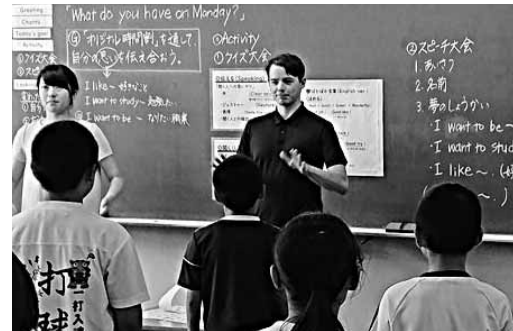
■外国語教育導入の背景

国際化の進展に伴い、英語力の向上は全国的な課題となっています。

このことから、令和2年度より、小学5・6年生ではこれまでの「外国語活動」に代わり「外国語」の授業が、さらに小学3・4年生では新たに「外国語活動」の授業が導入されることになりました。

■小学校での取り組みと小中連携

本市では、令和2年度からの導入に備え、すでに小学3・4年生では「外国語活動」を導入し、話したり聞いたりする中で、英語と日本語の違いに気づき、慣れていくとともに、英語や外国の文化について体験的に理解することを目指した学習を行っています。また、小学5・6年生では、実際のコミュニケーションで活用できる読み書きも含めた実践的な力を身につけることを目標に学習を進めています。今後は、小学校から中学校



ALTによる外国語教育の授業

へと外国語教育が円滑に行われるよう、教員の研修や授業交流会などを通じ、小中学校の連携を強化していきます。

■ALT(外国語指導助手)との連携

英語を使ったコミュニケーション活動をより充実させるために、本年度からALTを3人から5人に増員し、担任の先生と連携した授業を行っています。小学校では、「聞く」「話す」ことを中心に、時には体を動かしながら英語で歌ったり、ゲーム感覚で英単語に親しんだり、楽しみながら学べるよう工夫した授業が行われています。

学校教育の基準となる学習指導要領が、約10年ぶりに改訂され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度からそれぞれ実施されます。そこで、本号では、新学習指導要領に盛り込まれた、小学校におけるプログラミング教育および外国語教育について、現状と今後の取り組みを紹介いたします。

プログラミング教育について

■プログラミング教育導入の背景

今日、コンピュータは生活のあらゆるところで機能しており、生活を豊かなものにしていきます。

今後、AI(人工知能)の活用など、さらにコンピュータの機能が進化していく中で、子どもたちには、コンピュータを制御する技術や、効果的に活用する発想が求められています。

■小学校での取り組み

小学校におけるプログラミング教育は、実際にプログラミングができるようにすることが目的ではありません。



プログラミング教育の授業

- ①「物事には手順があり、手順を踏むと物事をうまく解ける」といった論理的に考える力を育むこと
- ②プログラミングを通してよい社会を築いていく態度を育むこと
- ③各教科の学びをより確実なものにすること

を指して行われます。新しく「プログラミング」という教科が作られるのではなく、各教科の学習の一部に位置付けられたり、総合的な学習の中で行われたりします。

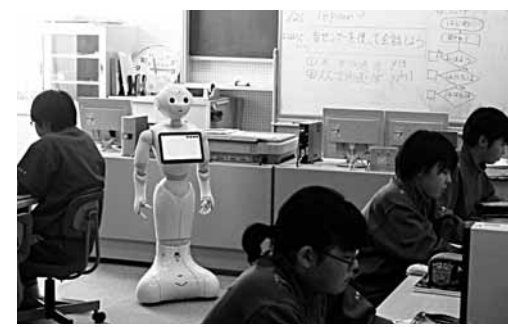
令和元年9月に、赤崎小学校を会場に、プログラミング教育の授業と、教員を対象にした研修会が行われました。5年生の理科の授業で「自動ドア」がどんな手順で動いているか、センサーを活用した電気の有効利用について考えました。

令和2年度から始まるプログラミング教育が、円滑に実施でき、また充実したものにできるように、今後も教材の準備や教員向けの研修会を行っていきます。

■中学校での取り組み

中学校では、「技術」の授業の中でプログラミング教育が実施されています。

本市では、ソフトバンク株式会社との教育事業連携協定により、全中学校に人型ロボット「ペッパー」が配備された授業を行っています。今後、プログラミング教育を広めるために、一層の活用が期待されています。



人型ロボット「ペッパー」を活用しています

ALTの皆さんから話を伺いました

本市では、5人のALTが、外国語教育の補助を行っています。皆さんに、普段の授業の様子や大船渡の良さ、今後の抱負について聞きました。



アーノット・ジュリアンさん
(オーストラリア・キャンベラ/5年目)

学校ではコミュニケーションを中心として、ゲームなどを取り入れて楽しく授業しています。大船渡は大好きです。みんな優しく、ゆっくり過ごせる場所なので、自分にとっても合っていると思います。小学校と中学校の英語の授業をうまくつなぐようにがんばりたいです。



ダネヒ・エロルさん
(アメリカ・バーモント州/1年目)

子どもたちは英語が上手で、元気に学んでいるので、教えている私の方がうれしいです。大船渡の皆さんは、優しく親切な人ばかりでとても助けられていますし、碇石海岸など美しい場所がたくさんあって本当に素晴らしい所です。これからも子どもたちと授業を楽しみたいです。



アマンダ・バレラさん
(アメリカ・カリフォルニア州/1年目)

一緒に仕事をする先生方は優しく、助けられています。子どもたちも元気で、英語も上手なので、すごいと思います。学校も子どもたちも素敵なので、毎日仕事を楽しみます。大船渡は自然が美しく幸せを感じます。ここで学んだことをアメリカでも生かしたいと考えています。



ジョシュア・ギャレットさん
(アメリカ・インディアナ州/1年目)

日本の子どもたちは、教えるたびにどんどん英語が上手になっていくのですばらしいと思います。大船渡は、食べ物がおしくて大好きです。毎日楽しく過ごしています。もっと日本語を勉強して、日本の子どもたちとたくさんコミュニケーションが取れるようにがんばります。



アリッサ・プラゴヴィチさん
(アメリカ・イリノイ州/1年目)

日本の子どもたちはとてもがんばりますし、英語の先生方と一緒に楽しい授業ができてうれしいです。大船渡はすごくきれいな場所で、皆さんも親しみやすくてとても楽しく生活しています。アメリカに帰ったときに役立つように、日本語も英語もがんばりたいです。